

東京 脳卒中・心臓病等総合支援センター ご案内とご協力をお願い

本事業は厚生労働省が循環器病対策推進基本計画に基づいて、循環器病である脳卒中および心臓病患者への包括的支援体制を構築するために、多医療機関・多職種が連携して行う総合的な取り組みです。各都道府県に原則1か所の医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と情報提供などの協力体制を構築して、地域全体の患者支援体制の充実を図るものです。令和4年度より国のモデル事業として始まりました。

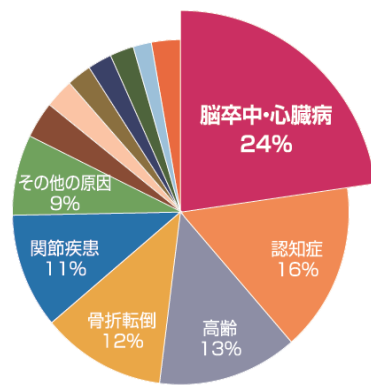
令和6年度より東京都の脳卒中・心臓病等総合支援センターとして**3病院（日本医科大学付属病院、榊原記念病院、武蔵野赤十字病院）の合同チーム**がモデル事業病院に選定されました。東京都、東京都循環器病対策推進協議会、東京都医師会と連携をする中で本事業を推進して参ります。

事業の背景

心血管病4大疾患の問題



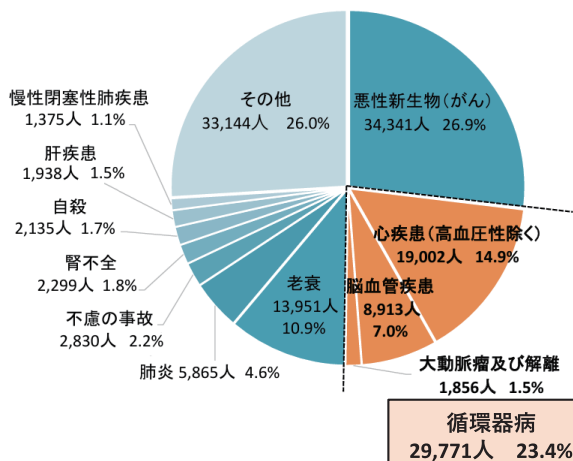
脳卒中病後の4つの大問題



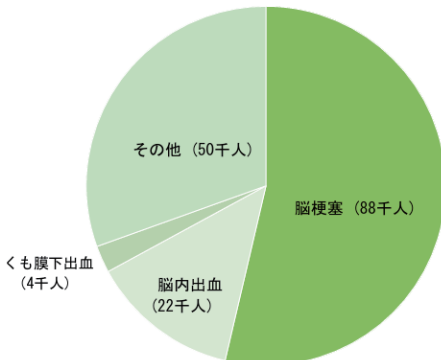
要介護・要支援の原因の**24%**は脳卒中・心臓病

東京都における循環器病の現況

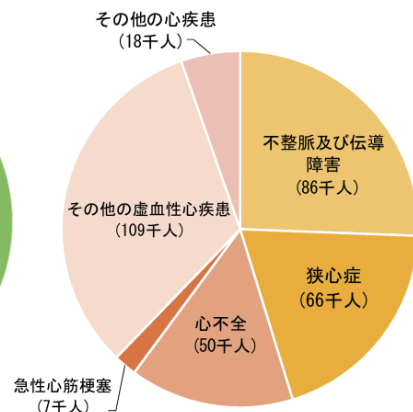
東京都民の主要死因の割合
(令和3年)



脳血管疾患総患者数内訳
(令和2年)



心疾患総患者数内訳
(令和2年)



循環器病
29,771人 23.4%

東京都循環器病対策推進計画(令和6年3月)より

(https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/junkanki-portal/others/plan_01revision.html)

事業の目的

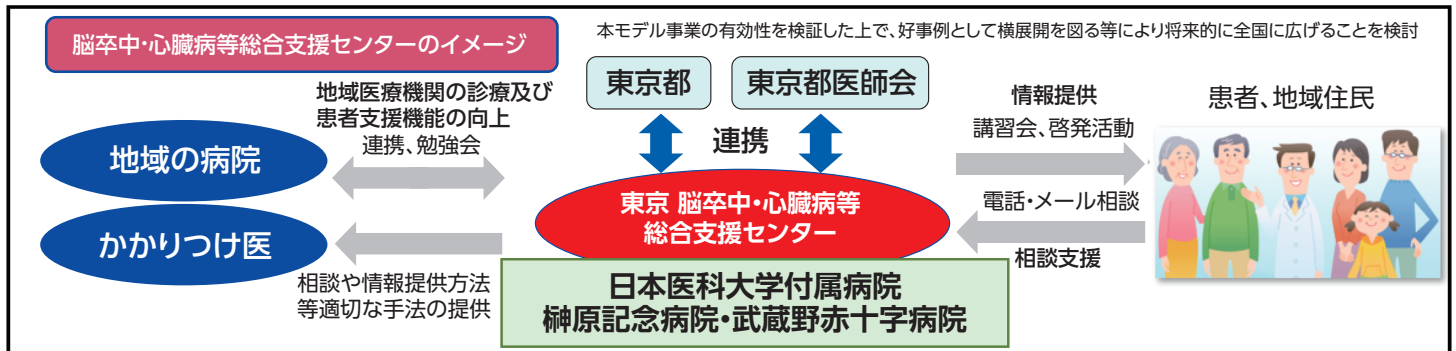
東京都民の脳卒中・心臓病等の予防・早期発見、
患者の予後とQOLの改善、健康寿命の延伸

事業の概要

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした脳卒中・心臓病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

厚生労働省（令和5年6月） [001102826.pdf \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/shingi2_001102826.pdf)



総合支援センターの活動により…

- ① 都民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる。
- ② 都民への啓発で循環器病の予防ができる。
- ③ 救急治療とリハビリテーションの普及により健康寿命が伸びる。
- ④ 病後のより豊かな生活が実現できる。
- ⑤ 患者の状況が把握でき、疾病対策を改善し、再発を予防できる。
- ⑥ 医療施設同士や福祉施設等の連携により円滑・緊密な患者支援体制、救急体制、診療提供体制の整備ができる。

事業計画

令和6年度計画

- 計画Ⅰ：相談窓口の開設と運用開始（支援センター）
3病院より始めて、可能なところから開設施設を拡大
- 計画Ⅱ：HP開設と広報活動（自治体・支援センター）
- 計画Ⅲ：都民への啓発に資する資料の整備（支援センター）
疾患啓発、相談窓口、両立支援等
- 計画Ⅳ：都民公開講座等の開催（支援センター）
疾患啓発セミナー、運動教室、栄養教室、親子心臓教室など

次年度以降の計画

- 計画Ⅰ：相談窓口の体制強化・拡充、浸透
- 計画Ⅱ：職能団体の連絡体制構築
- 計画Ⅲ：医療機関からの相談体制の構築
- 計画Ⅳ：都民への予防啓発活動
- 計画Ⅴ：医療機関・医療者への情報提供

実施計画の主な内容とご協力をお願い

まず総合支援センターの3病院が東京都と連携し各種事業を始めまいります。1400万の人口を抱え、病院が密集する東京都ですので、今後各地域の医療機関に活動が広がるようにご協力をお願いします。総合支援センターは東京都、東京都循環器病対策推進協議会、東京都医師会とも連携して各地域での事業展開を支援してまいります。

相談窓口設置

- 都民がワンストップで、疾患、診療内容、予防、両立支援、福祉などの医療サービスについて知ることができる一次相談窓口です。
対 象：患者・家族（都民）
相談方法：対面・電話など
対 応：脳卒中または心臓病に精通した看護師、医師、社会福祉士など
- 3病院に相談窓口を設置します。さらにご協力いただける病院への設置を促進します。原則として東京都の二次医療圏に一か所程度の病院への設置を想定しています。
- 総合支援センターでは相談マニュアルやQ&A、啓発資料の作成を行い、相談窓口設置を支援してまいります。



疾患啓発・研修会

- 医療従事者を対象とした講演会・研修会
- 相談支援、啓発を効率的に行う資料の開発・提供
- 就業と療養の両立支援の普及活動
- 都民（患者・家族を含む）を対象として、疾患啓発セミナー、公開講座、栄養教室、運動教室、親子心臓教室などを企画します。
- 啓発イベントの開催



支援センター3病院を中心に始めますが、各地域の医療機関・団体での啓発活動を支援します。

その他の活動

- アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及活動
- 急性期・維持期・回復期を通じたリハビリテーション（脳卒中、心臓）の普及・啓発活動
- 職能団体毎の連携体制の構築：心不全療養指導士、療法士（PT・OT・ST）、両立支援コーディネータ、管理栄養士、薬剤師、産業医、社会福祉士、介護福祉士など
- 既存の医療連携ネットワークの拡充（訪問看護ステーションや介護施設、在宅診療施設、地域包括ケアシステムにかかわる職種・施設など）
- 脳卒中サロン・心臓病サロン（患者さん・ご家族の集いの場）の立ち上げとピアサポート
- メディア、SNS等を通じた啓発活動
- 学校など教育現場での啓発活動
- 先天性心疾患の移行医療、成人先天性心疾患への一貫した診療支援



総合支援センターは、関連学会、日本脳卒中協会、日本心臓財団、日本循環器協会等の関連団体、各種患者会とも連携して事業を進めてまいります。また総合支援センターの活動にご協力をいただける個人、団体、医療機関の参加を歓迎します。

東京都におけるモデル事業の主体とチーム体制

センター長：木村和美（日本医科大学付属病院）
副センター長：磯部光章（榊原記念病院）
副センター長：玉置正史（武蔵野赤十字病院）

◆脳卒中グループ 代表：木村和美

日本医科大学付属病院：西山康裕
武蔵野赤十字病院：玉置正史

◆心臓グループ 代表：磯部光章

日本医科大学付属病院：浅井邦也、山本剛
榊原記念病院：中山敦子
武蔵野赤十字病院：足利貴志

◆総合支援センター本部：日本医科大学付属病院



23区：
人口985万

多摩地区：
人口429万

島しょ：
人口2.3万

脳卒中および心血管疾患の医療体制の評価指標

第II期循環器病対策推進基本計画（令和5年3月公表）の中で、国（厚生労働省）が設定した医療体制の評価指標の抜粋です。地域や自治体の医療体制や医療機関での診療体制、診療内容に対する評価指標となります。（ストラクチャー指標、プロセス指標、アウトカム指標）

重点項目

脳卒中：血栓回収療法の実施可能な医療機関数、脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数、療養・就労両立支援の実施件数、在宅等生活の場に復帰した患者の割合

心血管疾患：PCIが施行された急性心筋梗塞のうち90分以内の冠動脈再開通割合、入院および外来心血管リハビリテーションの実施件数、救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間、心血管疾患の平均在院日数、在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合

その他の項目

この他、脳卒中ではtPAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数、脳卒中の相談窓口を設置している医療機関数、脳卒中患者の重篤化予防するためのケアに従事している看護師数、血栓回収療法の実施件数、脳動脈瘤クリッピング術/コイル塞栓術の実施件数、リハビリテーションの実施件数、心血管疾患では慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数、心不全緩和ケアトレーニング受講人数、療養・就労両立支援の実施件数、大動脈/虚血性心疾患に対する心血管外科手術件数などが含まれる。両疾患とも両立支援コーディネーター研修の受講人数、介護連携指導の実施件数、があげられている。

（厚生労働省資料（令和5年3月） [001103126.pdf \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/shingi2_001103126.pdf)より抜粋）

各都道府県 脳卒中・心臓病等総合支援センター

令和6年度採択：計12都道府県、14医療機関

北海道（北海道大学病院）、山形県（山形大学病院）、群馬県（群馬大学病院）、東京都（日本医科大学付属病院・榊原記念病院・武蔵野赤十字病院）、山梨県（山梨大学病院）、岐阜県（岐阜大学病院）、滋賀県（滋賀医科大学病院）、和歌山県（和歌山県立医科大学病院）、岡山県（岡山大学病院）、山口県（山口大学病院）、宮崎県（宮崎大学病院）、鹿児島県（鹿児島大学病院）

令和5年度採択：計15府県、16医療機関

青森県（弘前大学病院）、岩手県（岩手医科大学病院）、埼玉県（埼玉医科大学国際医療センター）、神奈川県（東海大学病院）、石川県（金沢大学病院）、福井県（福井大学病院）、長野県（信州大学病院）、大阪府（国立循環器病研究センター）、兵庫県（神戸大学病院、神戸市立医療センター中央市民病院）、奈良県（奈良県立医科大学病院）、鳥取県（鳥取大学病院）、広島県（広島大学病院）、愛媛県（愛媛大学病院）、佐賀県（佐賀大学病院）、長崎県（長崎大学病院）

令和4年度採択：計10府県、12医療機関

宮城県（東北大学病院）、茨城県（筑波大学病院）、栃木県（獨協医科大学病院、自治医科大学病院）、富山県（富山大学病院）、三重県（三重大学病院）、京都府（京都府立医科大学病院、京都大学病院）、徳島県（徳島大学病院）、香川県（香川大学病院）、福岡県（九州医療センター）、熊本県（熊本大学病院）

東京 脳卒中・心臓病等総合支援センター

日本医科大学付属病院	〒113-8603	東京都文京区千駄木1-1-5	電話 03-3822-2131
榊原記念病院	〒183-0003	東京都府中市朝日3-16-1	電話 042-314-3111
武蔵野赤十字病院	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町1-26-1	電話 042-232-3111